

交野市教委ニュース

第48号（平成28年10月12日発行）

平成28年度 親学習講座 思春期の君たちと考える 親って何だろう？

親学習とは？

子育て中の親はもちろん、生徒、子育てを終えた世代などあらゆる世代を対象に、親としての心構えや子どもと接するスキルを学ぶ子育ての学習です。

社会教育では、6月24日（金）、交野市立第四中学校の1年生を対象に、親学習の講座を開催しました。今回は、一般社団法人家庭教育支援センターペアレンツキャンプ代表理事 水野達朗先生に、現在の中学生在が将来親になった時にどのように子どもと接していくのか、親になるための準備期の支援として「思春期の君たちと考える 親って何だろう？」と題した講演をしていただきました。

☆講演内容

①親って何だろう

医者・教師・家政婦・運転手・弁護士・警察官・コック・カウンセラーなどの役割を無償で24時間体制で担っているのが親である。
親になるための教習所なんてどこにもない。
子どもを生んだ瞬間から親の役割がスタートする。

②君たちが親になったら

親が感情的になってよく出てくる言葉として「なんでできないの？」がある。
誰もがボルトのように速く走れない。（才能があるわけではない）
失敗することで成長することもある。
自分が親になった時、同じように「なんでできないの？」をぶつける前に
子どもの気持ちを考えてみよう！

③子どもも親も成長途中

親も子も失敗から学んで成長する。
親は完璧ではない。

など親が日頃どのような気持ちで子どもに接しているのかを学んでいただきました。



講演の様子

また、教室に戻り感想文を書いて貰いました。下記のとおり結果となり、中学生への親学習の有効性が確認されました。

(複数回答あり)

